












## ダラツムマブ療法(2クール目以降)を受けられる患者さんへ

患者ID: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_  
 主治医: \_\_\_\_\_ 担当医: \_\_\_\_\_

受持看護師: \_\_\_\_\_

	入院日	ダラツムマブ療法当日	ダラツムマブ療法翌日
目標	治療の必要性、スケジュール、合併症や副作用を理解できる 	点滴のトラブルが起きないように注意を払うことができる 体温、血圧、脈拍などが安定している 次の症状が現れたとき、すぐに知らせることができる ■ ダラツムマブによるアレルギー症状が現れたとき ■ 点滴刺入部の異常が見られたとき 	体温、血圧、脈拍などが安定している うがい、手洗いなどの感染予防を理解、実施できる 発熱時の対応を理解、実施できる 次の症状が現れたとき、すぐに知らせることができる ■ ダラツムマブによる副作用が現れたとき
治療		【2回目以降】4～6時間程度です 	
内服	内服薬は、入院後に当院から処方されたものを飲んでください 		
点滴		身体の状態をみながら、ダラツムマブの速度をあげていきます すべて終了したら抜針します	
検査 観察	 【10時・19時】 体調が変わりがないか、体温・血圧・脈拍・酸素飽和度などを計測します	ダラツムマブ点滴中は心電図モニターを装着します  【点滴中は30分毎】 体温・血圧・脈拍、酸素飽和度、副作用アレルギー症状(咳嗽や呼吸困難、皮疹や掻痒感など)、吐き気や嘔吐、寒気、点滴刺入部の異常がないか確認します 【10時・19時】 体温・血圧・脈拍・酸素飽和度などを計測します	【10時・19時】 体温・血圧・脈拍・酸素飽和度などを計測します
安静度	制限はありません	点滴中はできる限り安静に過ごしてください 点滴が終了し、体調に問題がなければ制限はありません	制限はありません 体調に合わせて適度な運動を心がけましょう
食事	制限はありません お粥、パンなど希望があれば看護師にご相談ください 既往歴によっては、希望に添えない場合があります 	制限はありません 	
清潔		シャワー浴ができます 	
排泄		点滴の前にトイレを済ませて下さい 抗癌剤治療により、排便障害(便秘)になることがあります 便の回数や硬さ、色、量を教えてください	状態に応じて、清拭やシャワー浴ができます 入院中、できる限りシャワー浴をし身体を清潔に保ちましょう
説明	* 医師から治療について説明があります  * 「抗がん剤治療を受ける患者さんご家族の方、抗がん剤治療当日の説明用紙」のパンフレット【特に、排泄の注意点(P.4)】をよく読み分らないところがあればお聞き下さい 	副作用： 吐き気、嘔吐 体がだるい、貧血、易出血、皮膚症状(湿疹・かゆみ)、不眠、免疫力の低下などがあります  対策： 吐き気止めの薬を使用する 無理せず休む 転ばないようにする 痒み止めの薬を内服する 清潔、保湿に努める 早めに下剤を調整する	* 病室外に出る際は、マスクの着用、行動前後には手洗い・うがいをお願いします  <b>治療中のみなさまへ</b>  抗がん剤治療は長期に及びます。長い治療の中で体調が優れない日や、悩んだり、不安な日があると思います。そんなときは1人で抱え込まずに私達スタッフにいつでもお話しください。